

2018予算 本当にお金がないの？ 市民生活・子どもの命と安全にこそ予算を

弱者切りすて・大型開発推進をやめれば、市民生活・福祉は充実できる



2018年度一般会計は、市税だけで約10億円増加し、過去最大規模の554億円に。この財源を活かせば、市民の願い前進は可能です。しかし、TX沿線開発の本地区事業費不足26億円、開設されるおたかの森ホール年間維持費や諸経費1億数千万円見込むなど逆立ちした税金の使い方が大きな支障となっています。

観光費に5600万円 子どもの救急医療補助は1400万円

長時間過密労働でも子どもの救急を支えてきた医師4人のうち3人が退職に。しかし、それを支える公的補助はわずかです。一方、市長の号令で観光費5600万円、首都圏PR広告2000万円…力の入れ方が違いすぎます。いのちを守る市民福祉こそ優先すべきです。

予算の比重を市民に移せば… こんなことができる

項目	必要経費
『妊娠・出産・育児のサポート体制』の倍加	2000万円
救急医療体制への補助（近隣市並みに引上げ）	8250万円
就学援助費に部活動費やPTA会費などを追加	2200万円
自治会等交付金（単価を引き上げ）	1100万円
非婚ひとり親家庭の保育料軽減	300万円

市議会 **ねほり・はほり**

- **議員の期末手当引き上げに反対**
今議会、議員の一般質問を10分間削減する案が決定（日本共産党のみ反対）。そして最終日、議員の期末手当を引き上げました。国・県の勧告を受け、一般職員の手当引き上げに便乗し、市長・議員が「俺も俺も」と…仕事を減らし、手当引き上げにビックリ😱です。
- **6つの意見書を提案、4つが可決**
日本共産党は国、県に対する意見書を提案。児童虐待の防止にむけた「養護体制の強化を求める意見書」は全会一致で可決。「パーティー券など政治資金の透明性を高める意見書」は14対13の一票差で可決!!
森友・公文書改ざんで政治の公正さが問われる中、保守系議員も「賛成しないと市民に言い訳できない」とこぼしています。



身近な要求実現



会派	日本共産党				流政会					自由民主党			市民クラブ				公明党												
議員名	乾 紳一郎	小田 桐仙	徳増 記代子	植田 和子	森 亮二	青野 直	笠原 久恵	近藤 美保	坂巻 儀一	野田 宏規	大塚 洋一	石原 修治	根本 守	中村 彰男	海老原 功一	中川 弘	加藤 啓子	藤井 俊行	西川 誠之	楠山 栄子	森田 洋一	西尾 段	秋間 高義	齊藤 真理	戸部 滋	野村 誠	菅野 浩考	阿部 治正	
平成30年度流山市一般会計予算(可決)	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議員の期末手当引き上げの改正(可決)	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
奨学金の抜本的拡充を求める意見書(否決)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
政治資金の透明性を高める努力を求める意見書(可決)	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○

○賛成 ×反対 -棄権 ※議長は表決に参加しない。